

## 「老朽化した水道管の緊急調査」の結果 異常は確認されませんでしたのでお知らせします

川崎市上下水道局では、令和 7 年 4 月 3 0 日の京都市内で発生した漏水事故を受け、国土交通省から 5 月 7 日付けで発出された「老朽化した<sup>ちゅうてつかん</sup>鉄管の緊急調査の実施について」の実施要請に基づき、緊急輸送道路下に埋設されている<sup>ちゅうてつかん</sup>鉄管を対象に目視による巡視を実施しました。

その結果、現時点で異常は確認されませんでしたのでお知らせします。

### 1 調査期間

令和 7 年 5 月 1 3 日から実施し、5 月 2 1 日に完了

### 2 調査延長

国土交通省からの実施要請に準じ、緊急輸送道路下に埋設されている<sup>ちゅうてつかん</sup>鉄管約 4 km

### 3 調査結果

目視による巡視の結果、異常は確認されませんでした

### 4 今後の対応

本市では、地震時の被害が想定される<sup>ちゅうてつかん</sup>鉄管を老朽管と位置付け、早期の解消に向けて優先的に更新を進めてきました。現時点で残存している<sup>ちゅうてつかん</sup>鉄管は、道路工事が計画されている路線や関係部署との協議調整に時間を要している路線などによるものであり、解消に向けて引き続き関係者と調整を実施するとともに、漏水の危険性を考慮した点検頻度による地下漏水調査を実施し、漏水の早期発見と修理に努めてまいります。

問合せ先

川崎市上下水道局水道部水道計画課 山原

電話 044-200-3151

## 「老朽化した水道管の緊急調査」を開始しました

川崎市上下水道局では、令和 7 年 4 月 3 0 日の京都市内で発生した漏水事故を受け、国土交通省から 5 月 7 日付けで発出された「老朽化した鋳鉄管の緊急調査の実施について」の実施要請に基づき、次のとおり水道管の点検を開始しました。

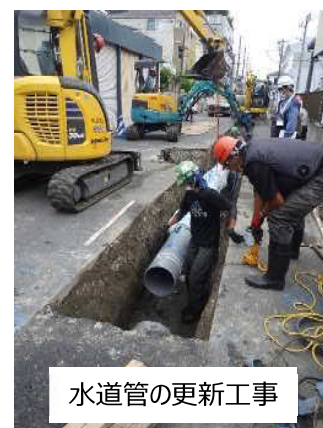
### 1 漏水事故防止に向けた本市の取組

老朽化した水道管とは、昭和 3 0 年代まで採用していた鋳鉄管で、現在主に採用しているダクタイル鋳鉄管に比べて衝撃に弱い材質となっています。

そのため、本市では、地震時の被害が想定される鋳鉄管を老朽管と位置付け、早期の解消に向けて優先的に更新を進めてきました。

道路工事が計画されている路線や関係部署との協議調整に時間を要している路線などがあり、水道管総延長約 2, 5 0 0 km のうち、令和 5 年度末時点で約 1 0 km の鋳鉄管が残存していますが、引き続き関係者と調整を実施してまいります。

また、本市では、市内を 5 6 2 区画に分割し、過去の漏水修理履歴や古い配水管の延長などにより、漏水の危険性の重みづけを行い、漏水調査の実施周期を設定しています。漏水の危険性が高い区域は毎年あるいは隔年で漏水調査機器を用いた地下漏水調査を実施しており、漏水の早期発見・修理に努めています。



### 2 緊急調査の概要

#### (1) 調査対象

緊急輸送道路下に埋設されている鋳鉄管：約 4 km

#### (2) 調査方法

道路上からの目視による巡視

#### (3) 調査スケジュール

令和 7 年 5 月 1 3 日に調査を開始し 5 月末までに完了します。

結果については調査完了後、お知らせします。

問合せ先

川崎市上下水道局水道部水道計画課 山原

電話 044-200-3151